

全教職員向け

ゆとりのある運転・交通事故防止を

梅雨時は交通事故が増えます

梅雨本番です。うっとうしい天気が続きますが、ゆとりのある運転や交通事故防止に努められていますか。

梅雨時の通勤時間帯は特に交通事故が増えます。

また、昨年度に比べて対面での研修も増え、校外に出張する機会も増えています。出張等に遅刻しそうなときはスピードを出して急ぐより、まずは出張先に連絡して安全運転に心がけましょう。

今回は、自分の運転について振り返り、万一交通事故を起こしたときの対応を確認しておきましょう。

たとえ軽微な事故で、相手が「大丈夫」と言っても必ず警察への連絡を。



下記のような場合、「当て逃げ」「ひき逃げ」を疑われ、最悪、罪に問われることもあります。

○登校中の中学生とかすかに接触したが、中学生が「大丈夫」と言って学校へ向かったので、そのまま出勤した。

○走行中の車同士で軽微な接触があったが、相手が走り去ったために、警察に届け出ず、そのまま帰宅した。

あなたの運転、大丈夫？

- 赤信号や交通渋滞にかかるとイライラしてしまう。
- 空いている道だと、スピードを出し過ぎてしまう。
- 横断歩道を渡ろうとする歩行者がいても、通り過ぎてしまう。
- 運転中もスマホ・携帯電話が気になってしまう。

一つでもあてはまれば**要注意**です！

もし交通事故を起こしてしまったら…

教職員の皆さんは、速やかに次の対応を取ってください。

- 車を安全な場所に停車
- 負傷者の救護（救急車を呼ぶ） **119番**
- 事故現場の保存と二次被害の防止
- 警察に連絡 **110番**
- 相手の住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先の確認
- 負傷者の搬送先病院名、負傷部位、程度の把握
- 勤務先・管理職に連絡 **勤務先：**
- 目撃者の確認 **管理職：**
- 保険会社に連絡 **保険会社：**

このカードを携帯しておけば安心です！